

留学先国名 : ニュージーランド

留学先学校名 : インターナショナル・パシフィック大学

留学期間 : 平成 27 年 4 月 7 日 ~ 平成 28 年 4 月 24 日

留学中の生活

留学中は学校の寮で友人と共同生活をしていました。私の通っていた大学は日本人が創った学校であったため、日本人学生がたくさんいましたが、他にもベトナム、インドネシア、またタイなどといったアジア各国からも学生来ていたので、彼らとも一緒に生活をしていました。日本語を学びたいと思う、ニュージーランドからの学生もいて、部活動やクラスと一緒に受けることもありました。初めの 2、3 ヶ月はやはり日本人同士で固まりがちで、あまり英語を勉強するには良い環境をつくるのが出来ませんでした。しかし、部活動やクラスを通して、次第に様々な国の人々との関わりができ、私の中の視野がかなり広がりました。留学に行く前は、全く知らなかった国から来た学生と今では、とても親しい関係で、帰国した今でも連絡を頻繁に取り続けています。普通の授業はまず、簡単な英語の基礎を学ぶファウンデーションと呼ばれるクラスで、最初の 3 ヶ月ほど英語を学びました。しかし、私はさらに難易度の高いクラスを受講したかったので、学士の授業を取り、そこで残りの 9 ヶ月勉強しました。お陰で私の人間関係も国際的になり、また英語力も伸びました。留学ってただ外国語を学ぶのだけではないのだな、と改めて感じました。生まれも育ちも価値観も違う人たちが一つの国に集まり生活することは、とてつもなく不思議で面白いです。

留学の成果

わずか一年間の留学ではありましたが、英語力だけではなく様々な部分で成長できたと思います。もちろん語学面では、TOEIC の点数が上がったり、リスニング力、スピーキング力が向上しました。しかし、私の場合、インドネシア人の学生と親しくなったので、一年のほとんどを彼らと過ごしました。お陰でインドネシア語もたくさん学びました。だから英語はもちろん、インドネシア語、日本語でも互いに会話をしていました。お互いの国々のことを知れる環境は留学ならでは出来ることだと思います。英語を第一言語とする人よりも、私と同じように英語を第二言語として勉強しに来る留学生のほうが周りに多かったため、互いに言語の難しさを共感でき、例えば英語の文法や発音が間違っていたとしても、大概通じ合えたため、初めの英語を使う恥ずかしさなどはすぐに消えました。その点については、早い段階で打ち解けられたため、英語にすぐ親しめました。成果は決して数字だけで見られるものではなく、あらゆる場面で自分で自分自身の成長を感じることができると私は思います。

留学で得たことをどのように活かすか

上記で述べたように、この留学で私が得たことは英語力の他にも、他国の人と生活する楽しさ、面白さに気づけたことです。これらの経験はこの先の将来に活かしたいと強く思います。といっても、ものすごくボンヤリ

しているようですが、私はこの留学で他の国から来た人は自分が予期しなかったような考えや、モノの感じ方があることに気づきました。これは、やはり実際に留学をしないと感じられないことです。特に私に学校はニュージーランド人だけではなく、アジアからの学生もいるため、一度にたくさんの人柄が知れました。また、私はこの留学で積極性もつきました。たった一年しかない貴重な留学期間なので、その環境でできることは何か、今しかできないことは何かを常に意識し、良い機会があればすぐに飛び込むようにしました。考えてる暇があれば行動するほうが得することは多いと感じたからです。今まで、日本では先延ばしにしたり消極的な部分もありましたが、時間が限られていると思えば、何事にも戸惑うことなく挑戦できました。この積極性を就職活動に活かし、また就職先でもリーダーシップを発揮することに繋がられればと思います。私は、将来外国籍の人と働きたいと思っているので、価値観の違いがあっても受け入れられる心が身についたことで、外国人と良い関係を築けるのではないかと期待しています。更に、寮生活であるため、日本にいる家族はもちろん、親しい友人もいないところからスタートしたことで身についた自主性は今の一人暮らしに活かされています。

留学についてのアドバイス

私がアドバイスできることがあるかどうかは分かりませんが、私が留学するときに常に心がけていたことを紹介したいと思います。まず、一つは毎日新しいことにチャレンジすること。留学は単なる旅行ではなく、外国人と共にある一定の期間生活することになります。慣れてくると、なんだか退屈に思えてくることもあるかもしれませんが、それはあなた達次第だと思います。毎日、成長する人はちょっとずつでも変化を付けていきます。英語をとりあえず毎日話すようにするとか、外国人の友達を毎日増やしていく、など簡単なことから始めていけばいいと思います。遅すぎるなんてことはないと思うので、思い立ったら行動することが留学生生活を充実させるためには必要なことだと思います。また、いろいろな国の人々と仲良くなると、英語が上達するだけでなく、何より留学生活がより楽しいものになりますし、その学生の国へ旅行先として行くことも出来ます。さらには自分の中での世界観がかなり広がります。これらが留学生活、また帰国後に役立つことだと思います。時間はあっという間に過ぎるので、後悔のないように、その時、そこで出来ることは何かを常に考えて生活するのが留学生活を楽しむ最大のコツだと思います。